

「平成 29 年度 教員免許状更新講習」

1 趣 旨

教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童の集団宿泊活動を効果的に実施するための基本的な体験活動の指導技術を身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育課程の編成や教育活動に体験活動を取り入れる方法を講義や実習を通して習得する。

2 事業の概要

(1) 期 日 平成 29 年 8 月 4 日 (金) ~ 6 日 (日) 【2 泊 3 日】

(2) 参加者 17 名 (島根県 15 名、鳥取県 1 名、広島県 1 名)

(3) 研修内容及び講師

講義①「学校教育活動と体験学習」(1 時間 30 分)

島根県教育センター所長

村木 隆夫

講義②「子どもの成長期における体験活動の重要性」(1 時間 30 分)

鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授

近藤 剛

講義③「自然体験活動の意義 (目的) と子どもたちへの効果」(2 時間 30 分)

鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授

近藤 剛

講義④「集団宿泊活動の現状と効果的な指導法」(1 時間)

国立三瓶青少年交流の家事業推進室長

寺戸 真一

実習①「ねらいに応じた野外炊事の理解と実際」(3 時間 30 分)

国立三瓶青少年交流の家事業推進室長

寺戸 真一

国立三瓶青少年交流の家企画指導専門職

辻田 渉

実習②「学級経営に活かせる体験活動の指導法」(3 時間 30 分)

山口県防府市立富海中学校教頭

藤田 守弘

実習③「子ども達がワクワクする自然観察の技術」(3 時間)

島根県立三瓶自然館「サヒメル」学芸課課長代理

井上 雅仁

履修認定試験 (1 時間 30 分)

(4) 日 程

日付	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8/4(金)		受付 開講式	講義①	休憩	講義②	休憩	講義③						
8/5(土)		講義④	実習①			休憩	実習②			休憩	情報交換会		
8/6(日)		実習③			休憩	履修認定試験	閉講式						

3 事業の内容

(1) 事業の特色

本事業は教員免許状更新講習として、選択領域の「教科指導・生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する内容を学ぶことができる講習である。小学校教諭が主な対象だが、他の校種の免許状を有する教員でも受講が可能である。2泊3日の講習では、体験活動の意義や現状を詳しく学べるとともに、様々な実習を行い、活動の進め方や指導のポイントなど、幅広い内容を学ぶことができる。

(2) プログラムデザインと企画のポイント

受講者にとって有意義な学びの機会となるよう、講義と実習のバランスを考え、プログラムをデザインした。また、受講者同士の学びが、より深められるよう、グループワークを効果的に取り入れた。

学校現場では、自然体験活動や集団宿泊活動に対して、活動中のケガや病気、予期せぬ事故など、引率に不安をもっている教職員もいる。野外炊飯や自然観察など、それぞれの実習で、安全上配慮すべきことをわかりやすく伝えた。また、受講者が他者や自然と関わることで充足感を得る体験ができるよう計画し、受講後も自然体験活動への意欲、関心を持ち続けられるように講習を進めた。

4 成果と課題

《成果》

- ・昨年度のプログラムを参考に、体験活動に関する理論と指導技術を無理なく学べる展開とした結果、受講者から「学校で、体験活動を行うためのヒントをたくさん得ることができた。」「実体験を通して学んだことを今後の学級経営に活かしていきたい。」など、多くの肯定的な意見を得ることができた。
- ・受講者は宿泊で生活を共にし、講義や実習では、グループワークなどを通して、次第に打ち解け、笑顔や会話が増えていった。受講者自身が集団宿泊体験をしたことで、集団宿泊活動の意義や効果の理解をより深めることができたと考える。

《課題》

- ・例年、暑い時期の講習となるため、講義は冷房設備のある研修室を使用したり、屋外の活動では、休憩、給水を定期的にとったり、体調管理において、細心の配慮を払って事業運営に当たったが、終盤に疲れの見える受講者も見受けられた。今後、日程の変更も検討課題としていきたい。
- ・今年度は、定員35名のところ、17名の参加に留まった。次回に向けて、島根大学で開催される講習の案内と一緒に広報をかけるなど、広報の方法・範囲を検討する必要がある。



グループワーク



自然体験活動



自然観察（三瓶自然館サヒメル）

(担当：企画指導専門職 辻田 渉)